

2022 年 8.6 青空式典への韓国からの連帯メッセージ

広島原爆投下 77 周年、8.6 青空式典に支持と連帯を送ります。

77 年前の今朝、広島上空で爆発したたった一発の原子爆弾で多くの人が亡くなりました。生き残った人々も一生、癌をはじめとする病気に苦しみました。それだけでなく被爆 2、3 世たちは今も苦しい日々を送っています。

広島と長崎に落とされた原子爆弾によって被爆した在日朝鮮人の数は、少なくとも 7 万から最大 10 万人、死者は 5 万人余りと推算されています。被爆者のうち生き残った約 4 万 3 千人が朝鮮に帰り、2021 年末現在、1992 人が生存しています。

2013 年調査の対象となった原爆被害者 1 世、2 世、3 世 1,125 人のうち 20.2% の子どもが先天性障害または遺伝性疾患を持っていると答えました。現在登録されている被爆 2 世は 2,798 人に過ぎません。実際、何人いるのか分からないのです。

日本政府は毎年、広島平和公園で式典を開き、当時の原子爆弾による死者を追悼します。しかし、なぜそのような事件が起きたのかの原因については語りません。日本帝国主義の侵略戦争が原因であったのに、日本政府の謝罪と責任については固く口を閉ざしています。

米国もまた、人類史上初めて原子爆弾を使用しておびたしい数の殺傷と破壊を行いました。しかしその責任に対して謝罪や反省がありません。いくら戦争中だったとしても、民間人に対する兵器の使用と殺傷は、国際法上、明確な戦争犯罪です。

今、地球上に存在する核兵器は、77 年前とは比べ物にならないほど破壊力と殺傷力が高まりました。全ての核兵器 1 万 2,705 基のうち、ロシア (5,977 基) と米国 (5,428 基) が 89.77% を保有しています。核保有国は、核拡散禁止条約 (NPT) を通じて自分たちだけが排他的に核兵器を保有したまま、核兵器禁止条約 (TPNW) も批准していません。

福島原発事故以降、「原発ゼロ」政策を宣言した日本は、今、再稼働と新規建設を推進しています。韓国も「脱原発」を宣言しましたが、実際は核振興政策を展開し、新しい政府は「原発強国」を宣言しました。

ヨーロッパも気候危機を口実に原発をグリーンエネルギーに分類しました。しかし放射能は緑色ではなく無色の災いです。人類は 77 年前、広島と長崎に投下された原爆による途方もない災難を経験したにもかかわらず、そこから教訓を得ることができませんでした。日韓の労働者民衆が先頭に立って、全地球的な反核・脱原発運動を展開していかなければなりません。8.6 青空式典に支持と連帯を送ります。

2022 年 8 月 6 日
AWC 韓国委員会